

# 岩田小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

- ・全校児童の2割以上の外国籍児童が在籍していることもあり、自国や相手国のよい面を互いに尊重できる心を育む教育活動を日常的に行っている。
- ・「岩田大好き」という子どもたちの思いをもとに、ESDを「岩田校区のことを地域の『ひと・もの・こと』から学ぶ」学習活動と位置づけ、各学年で行っている。

## ・活動の実際

### ① 地域とともに行う活動（全校児童）

「岩田どんどこまつり」という行事では、子どもたちが地域のかたとふれ合う機会を設けることで、地域への愛着を深めたり、文化や伝統を大切にしたりする心を育てることをねらいとしている。地域の団体のかたがたが体験講座を開き、子どもたちはその講座を回ってさまざまな体験を行う。

体験活動の講座は、PTA役員、消防団、社会体育委員、老人クラブなど、多くの団体がそれぞれの特性を生かして講座を開講している。今年度は21講座あり、運動や楽器演奏、作品づくり、放水活動、SDGsを学ぶなどの体験を行える講座が開かれた。どの講座も子どもたちが楽しく活動することができる魅力ある講座である。

この行事を通して、子どもたちは地域の人々とすすんで関わり、自分たちの地域を大切にする気持ちを高めるとともに、関わってくださったかたに対して感謝する心を育む機会にもなっている。



ペーパークラフトに挑戦

### ② 公園探検を通して、自分から地域と関わる活動（2年生）

2年生の生活科の学習で、公園探検を行った。よく利用する岩田運動公園に出向き、公園のよさに気づくことができた。運動公園がきれいに管理されていることに疑問をもち、公園に詳しい人に話を聞く活動を通して、木や草、ごみを専門の会社の人がかきれいにしていることを知った。

その後、ふだんから遊んでいる万口公園にも出向き、その公園のよさも見つけることができた。子どもたちは、万口公園は地域の人が掃除していることに気づき、「どうして地域の人が公園をきれいにしてくれているのか」という疑問をもった。そこで、その疑問をテーマに話し合うなかで、地区の自治会長さんの話を聞く機会を設け、みんなの公園を大切にしたいという強い思いをもち、公園を使う人のためにすすんで掃除をしてくださっていることを知った。

その思いを知った子どもたちは、自分たちにも何かできることはないかと考え、自分たちも大好きな公園をきれいにしたいと思い、掃除する活動へとつながった。

今回の学習では、地域から学び、自分たちから地域に働きかける姿が見られる活動へと広がることができた。



公園の清掃をする子どもたち